

製品名: ニューロフィジンIウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab14617

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	19kDa

抗原情報

遺伝子名	OXT
別名	OXT; OT; Oxytocin-neurophysin 1; OT-NPI
遺伝子 ID	5020.0
SwissProt ID	P01178
免疫原	抗血清はヒトニューロフィジンI由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 40-89

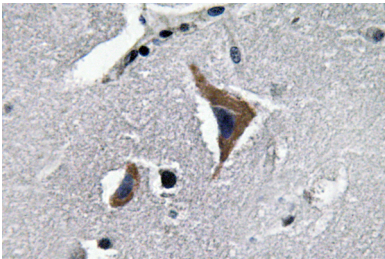
背景

この遺伝子は、オキシトシンとニューロフィジンIを生成する前駆体タンパク質をコードしています。オキシトシンは下垂体後葉ホルモンであり、視床下部でそのキャリアタンパク質であるニューロフィジンIと共に不活性前駆体として合成されます。ニューロフィジ

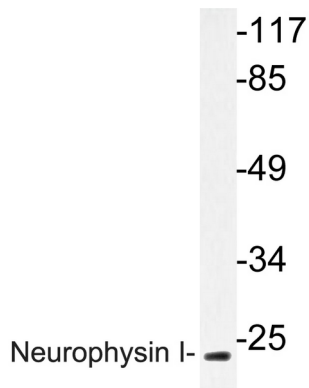
ンと共に神経分泌小胞に包み込まれ、軸索を通過して神経下垂体の神経終末に輸送され、そこで貯蔵または血流中に分泌されます。前駆体は、軸索を通過して下垂体後葉に輸送される間に活性化されると考えられています。このホルモンは、分娩および授乳中に平滑筋を収縮させます。また、認知、寛容、適応、複雑な性行動および母性行動、ならびに水分排泄および心血管機能の調節にも関与しています。 [RefSeq 提供、2013 年 12 月],機能: ニューロフィシン 1 はオキシトシンと特異的に結合する。 ,機能: オキシトシンは子宮平滑筋および乳腺の収縮を引き起こす。 ,オンライン情報: オキシトシンの項目,医薬品: オキシトシンは、ピトシン (パーク・デイビス社) およびシントシノン (サンド社) という名称で入手可能である。人工的に陣痛を早めたり誘発したりするために使用される。 ,類似性: バソプレシン / オキシトシンファミリーに属する。 ,

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織における Neurophysin I 抗体の免疫組織化学分析。



Neurophysin I 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。